

第3回クラブ協議会①

本年度最後のクラブ協議会が開催され、各委員会の事業の成果が発表されました。

クラブ管理運営 リーダー 石川 三義

森藤会長の下、活力ある・魅力ある・参加してよかったと思っただけのクラブ運営に努めてきました。皆さんのご協力のもと、副会長として一年間務めることができますことを感謝申し上げます。一年間次期会長として様々な勉強をさせていただきました。これからも皆様のご支援をお願いいたします。

出席 今年度は11/20に出席率100%を達成することができました。皆様のご協力に感謝いたします。欠席する時は原則事前連絡とし、当日連絡の時は遅くとも例会開始の5分前にはご連絡ください。欠席した時はメモキャップを活用して出席率100%達成できるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

親 睦 毎週の例会におきましては、会員の皆様方よりいただきましたスマイルボックスの集計および発表を行ってまいりました。今年度は1度スマイルボックスを発表できない例会があったことは残念であります。また、ゲスト・ビジターとして当クラブにお越しいただいた方々には、気持ち良く例会に参加していただけるように努めてまいりました。通常の例会以外では、7/24に夜間例会にて前会長幹事慰労会および会長幹事激励会を開催し、一年間、会の運営に携わり見事な運営をしていただきました山口前会長並びに内田前幹事の労をねぎらうことができました。12/18には忘年家族会を開催し、会員はもとよりご家族の方々にも多く参加していただき、盛大に会を開催することができました。残り1ヶ月ではありますが、最後まで身を引き締めて務めさせていただきますと思っています。

会 報 沼津RCの伝統を踏まえ、読みやすい誌面作りに努めてまいりました。誌面作成にあたって、会長には会長挨拶の原稿を毎週いただき、また、卓話者の原稿でプログラム委員会にご協力をいただきました。各委員会からの活動報告および情報提供についても、ご協力いただきました。お礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

プログラム クラブテーマに沿って有益で、また、会員参加型の卓話を計画しました。卓話者の紹介、交渉等、会員卓話を含め多くの会員様にご協力をいただき、無事遂行することができました。1年間ありがとうございました。

広報 リーダー 山口 和一

広報・雑誌 【目標】 会員増強に繋がる広報活動、RCの魅力伝える広報活動、沼津RCの確実なIT推進【施策】①広報・雑誌委員会の連携により、的確なRCの活動を伝えていく②マスコミ関係へのPR用情報提供フォーマットの作成と活用③事務局との連携によるRCのIT推進の具体的活動【結果】①組織図などを静岡新聞、沼津朝日新聞に掲載②R財団補助金プロジェクト贈呈式の模様を新聞に掲載③9/18の例会にて「マイロータリーについて」の卓話④My Rotary アカウント取得者は31名。

会員維持増強 リーダー 奥村 茂春

事業計画としてクラブ活性化推進のため、4小委員会と理解し合い、新会員の勧誘と現会員の退会防止を目標にしてきました。スポンサーは勿論全会員が継続してその役割を果たしてくださるよう変わらずお願いいたします。

会員選考・R情報 本年度は、当クラブ会員諸氏のご尽力により近年まれに見る6名の新入会員の推薦をいただき、当委員会に仕事の場を与えていただいたことに感謝いたします。会員増強委員会の内田委員長とコラボして、新入会員候補者と親しく面談し、またオリエンテーションの時間も持ちました。その結果、推薦された新入会員候補者の方々は将来の沼津RCを背負って立つ優秀な人材と確信をして理事会に報告いたしました。R情報委員会は、これら新入会員および会員に的確なR情報を流し、世界の、また、日本のRの潮流を理解して質の高いロータリアン育成に資することであると理解しています。残念ながら今年度当委員会は、この責務を十分には果たせなかったことを深く反省しております。しかしながら、最も最新情報を知り得る立場である森藤会長が、そのすべてを会長挨拶の中で披露し、当委員会に援護射撃をしていただいたおかげで、その責務の一端は他力本願ながら果たせたのかなと思っています。

会員増強 6/21に山梨で開催された、地区会員増強・維持セミナーに森藤会長と出席してまいりました。8月の会員増強・拡大月間の例会にて、セミナー内容の報告と会員増強への協力をお願いも行いました。本年度は5名の方に入会していただき、残念ながら2名の方が退会され、3名の純増となっております。49名以下のクラブ目標は純増1名ですので目標は達成いたしました。50名の目標には届きませんでした。来月には1名の入会者が予定されております。退会者の多い、魔の6月を乗り越えられるよう会員の皆様には一層のご協力をお願いいたします。増員に対するご協力とご理解に深く感謝申し上げます。

職業分類 職業分類については、会員減少による空白が目立っています。バランスの良い会員増強を心がけていきたいと考えておりましたが、増強が優先されバランスのある理想のクラブには至っておりません。多くの職業の方々に入会していただくことは将来のクラブ運営にとっても大切なことと考え、今後も努力してまいりたいと思います。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実か どうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



ガバナー補佐期末訪問

ガバナー補佐 期末訪問によせて

ガバナー補佐 芹澤 貞治

本年度も残り少なくなりました。会長・幹事を始め、会員の皆様には、地区・分区に協力くださりありがとうございました。静岡第3分区内多数のクラブが、地区目標をクリアしようとしておりますことは、会長・幹事の強い指導力、そしてなによりも会員全員の高い目標と、努力の賜物と思います。

現在日本では、多数のRC・指導者が悩みを抱えています。その答えが、先の地区大会、第1日目での講演（講師：2013-15年度RI研修リーダー・小船井修一氏）にあると思い、紹介いたします。

日本の人口・企業数は減少を続けています。R会員数も企業数に合わせ減少し、近年は減少に歯止めは掛かりましたが、増加する勢いはありません。

1921年、シェルドンは国際大会で「最も良く奉仕をした者が、最も良く利益を得、最も良く生き残れる」と語りました。ダーウィンは『種の起源』の中で、「生き残ることのできる生物の種族は、最も優れた能力を持った種族ではなく、環境の変化に対応できる種族である」と書いています。これらをつなぐと、「最もよく奉仕した者が、最も良く利益を得、そして、最も変化できる者が生き残れる」。

Rの最大の変化は、規定審議会による度重なる規則緩和だと思います。近年ではEクラブ・衛星クラブなど新しいカテゴリーの誕生や、RCセントラルの導入により、RIとクラブの相互情報交換を可能にし、クラブ運営方法論も変わってきました。

2015年の国際協議会で、ジュン・ヒューゴRI事務総長が語ったように、末永いRの成功を果たすためには、伝統を見直す必要があります。

日本の一部のRの常識は、今や世界の世論ではありません。R内の対話も重要ですが、外に向けたコミュニケーションに力を入れる必要があります。地域の一般の人達を対象にした行事を積極的に実施すべきです。地域で認められなければ会員は減少します。地域の人が入会したいと思うようなクラブにするには何が必要か、自問すべきです。事務総長は、「会員はあらゆる地域社会で活動し、地域社会と結びつき、社会貢献をしたいと考える人が、真っ先に思い浮かべ、それと同時に職業人が交流し、生涯に渡る友情を築き、地域社会の優秀な人材がクラブに集い、自分の能力を最大限に引き出せるのがR」。また、変化を求めていくことが必要だと述べました。

変化に対して「おかしい」と言うことは簡単ですが、今は変化していく時代です。私たち自身がどうRを変えていくか、変化して一番利益を受けるクラブになるのか、決してガラパゴス化しないよう、皆様真剣にお考えください。

紙面の都合により、一部を要約し掲載しました。

理事会だより

◆第12回定例理事会
2016.5.27(金)14:05～
出席者12名

【報告事項】

日帰り研修バス旅行(4/6(水)実施)収支報告
…収支報告書のとおり

【議事】

1. 6月例会プログラムの件 承認

6月10日	RI国際大会韓国の報告 会長・幹事
6月17日	高齢者の事故とその実態 東部自動車学校 副管理者 鈴木 誠之様
6月24日	正副会長・幹事退任挨拶
7月1日	正副会長・幹事就任挨拶

2. 7～9月テーブル編成の件(今回は住所順) 承認 ⇒本会で先に承認し、被選理事会で追認することとする

3. 沼津RC社会奉仕委員会より「千本をよくする会」へ助成金の件 承認

⇒86,000円(2,000円/人×43人)を助成する

4. 次年度委員会編成・次年度慶事記念品の件

いずれも承認
⇒委員会編成は今後の入退会等により変動あるも暫定的に承認

⇒慶事記念品は本会で先に承認し、被選理事会で追認することとする

5. 熊本地震災害義援金の件 承認

⇒会員からの募金67,000円+クラブ予備費からの33,000円=100,000円をRI第2720地区「熊本地震総合支援室」に送金する

6. その他 内田君の件

⇒5月から7月までの3か月間を出席免除 承認

【連絡事項】

①新会員渡邊秀一君の件

⇒6/3ゲスト扱い、6/10正式入会とする

②内山君の件⇒常務取締役退任のため新会員入会予定

③長橋君の件⇒6月は欠席、出席免除等の扱いは未定

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

長 泉…6/15(水)は夜間例会

富 士…6/15(水)は特別休会

6/22(水)は夜間例会

富士宮西…6/24(金)は例会会場変更 夜間例会
@富士見荘

新 富 士…6/28(火)は6/25(土)

期末例会・親睦会(夜間)

沼津柿田川…6/27(月)は例会変更

2. 5/28(土)～6/1(水)RI国際大会ソウル

⇒会員・配偶者ほか合計17名参加予定

3. 5/29(日)沼津西RC創立25周年記念式典

⇒石川副会長 1名出席予定

4. 6/5(日)「千本をよくする会」千本公園清掃

奉仕および駅前花壇清掃奉仕

⇒午前9:00～千本公園八角池前集合・雨天中止

⇒千本清掃後、各自駅前花壇まで移動・清掃(花壇清掃時、軍手等清掃用具を各自ご持参ください)

5. 6月のロータリーレート 1ドル=110円

スマイル・ボックス

5月合計 11,000円

東君…都合で本日早退させていただきます。

森藤君…芹澤ガバナー補佐、宮島補佐事務局様、本日はご訪問ありがとうございます。

山本君…先週は配偶者誕生日ありがとうございました。妻が「まさにコレが欲しかった」と、とても喜んでいました。

2016－2017年度

沼津RC理事・役員・委員会編成表

理 事		役 員	
理 事	石川 三義	会 長	石川 三義
理 事	吉野 聖一	直前会長	森藤 恵二
理 事	森藤 恵二	副 会 長	吉野 聖一
理 事	山本 洋祐	幹 事	山本 洋祐
理 事	細澤 哲哉	副 幹 事	村上 綾一
理 事	實石 学	会 計	奥村 茂春
理 事	奥村 茂春	副 会 計	楠木 公一
理 事	東 宗徳	S A A	山口 和一
理 事	山口 和一	副S A A	大村 愛美
		親睦活動	内田 久嗣
		プログラム	渡辺 好司

常任委員会	小委員会	委員長	副委員長	委 員		
クラブ管理運営 吉野 聖一	出 席	大友 保志	辻 明久	能見 哲理	内山 義郎	長橋 秀行
	親 睦	内田 久嗣	白壁 浩之	藤田 洋行	金子 暁生	高地 尚之
	会 報	三好 勝晴	服部 哲雄			
	プログラム	渡辺 好司	石川 秀雄			
広 報 森藤 恵二	広 報	楠木 公一	杉山 哲男			
	雑 誌					
会員維持増強 實石 学	会 員 選 考	石渡 保宣	渡辺 芳彦			
	R 情 報					
	会 員 増 強	峯村祐紀子	清 マキ			
奉仕プロジェクト 細澤 哲哉	青 少 年	峯尾佐都子	向坂 義次			
	職 業 奉 仕	塚本 和弘	長橋 秀行			
	社 会 奉 仕	渡邊洋二郎	寺田 鼎			
	国 際 奉 仕	野際 宏行	積 惟貞			
財団プロジェクト 道前 勇	R 財 団	東 宗徳	鈴木 啓司			
	米 山	勝呂 衛	望月 美樹			
クラブ研修リーダー		渡邊 雅昭				

国際ロータリー第2620地区

諮 問 委 員 会	委 員	積 惟貞	指 名 委 員 会	委 員	積 惟貞
研 修 委 員 会	委 員	積 惟貞	補 助 金 小 委 員 会 (奨学金・平和フェロー担当)	委 員	吉野 聖一
職 業 奉 仕 委 員 会	アドバイザー	積 惟貞	米山梅吉記念館委員会 運 営 小 委 員 会	委 員	細澤 哲哉
規 定 審 議 会	代 議 員	積 惟貞	米山梅吉記念館委員会 運 営 小 委 員 会	委 員	山口 和一

ソングリーダー	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
	野際 宏行	峯尾佐都子	能見 哲理	白壁 浩之	清 マキ